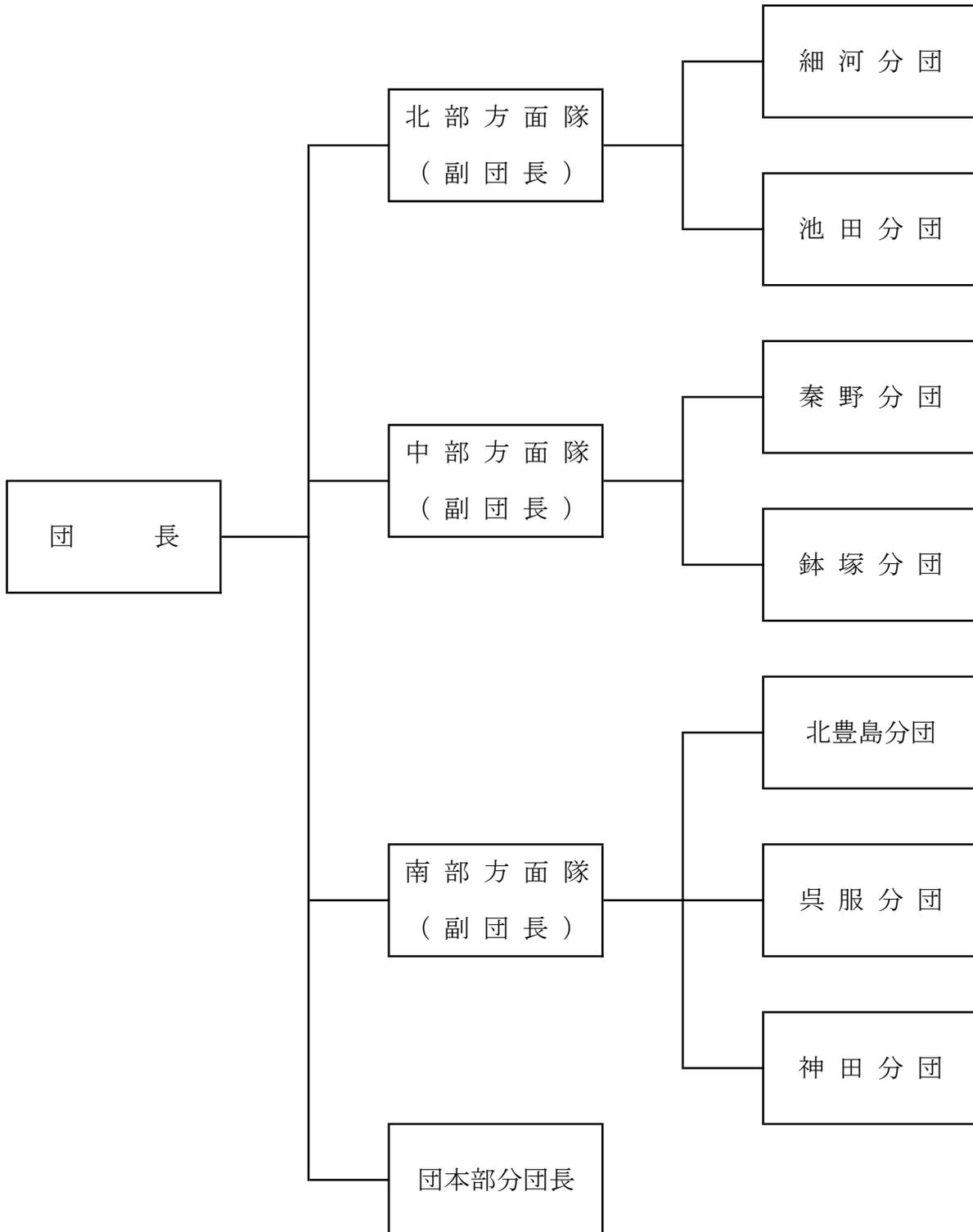


消防團編



消防団組織



消防団の沿革

郷土の防災に挺身する消防団の歴史は遠く江戸時代に端を発し、当時雲龍水龍吐水を備え消防活動を行っていた。

明治10年		腕用ポンプ1台購入配備（池田村）
明治22年	4月	町制実施により池田町消防組を結成
明治27年	11月	消防組規則公布により公設池田町消防組を設置
明治30年	6月	腕用ポンプ1台購入配備
明治43年	8月	蒸気ポンプ1台購入配備
大正8年	5月	手曳ガソリンポンプ2台購入配備
大正12年	5月	手曳ガソリンポンプ1台、三輪ポンプ自動車購入配備
昭和10年	8月	ダッチブラザーズ500ガロン消防自動車1台購入配備
昭和14年	10月	警防団令公布により池田市警防団と改称 （人員800人、自動車5台、三輪1台、手曳1台）
昭和16年	9月	消防車2台購入、呉服分団、秦野分団に配備
昭和22年	8月	消防団令の公布により警防団を廃し、池田市消防団を結成発足 （団員定数150人、5ヶ分団）
昭和25年		中型消防ポンプ自動車2台購入、細河分団、北豊島分団に配備
昭和26年		細河分団車庫兼詰所46.2㎡建設
昭和27年		北豊島分団車庫兼詰所56.1㎡建設
昭和29年	4月1日	消防団員定数150名を180名に条例改正
昭和31年	12月31日	細河分団員、星野、吉野氏殉職
昭和36年	2月19日	消防団装備強化のため消防ポンプ自動車1台購入、池田分団に配置
昭和37年	2月22日	消防ポンプ自動車1台購入、呉服分団に配置
昭和42年	11月15日	消防ポンプ自動車1台購入、北豊島分団（神田）に配置
昭和44年	10月9日	消防ポンプ自動車1台購入、細河分団に配置
昭和45年	10月17日	消防ポンプ自動車1台購入、秦野分団（鉢塚）に配置
昭和46年	8月25日	小型動力ポンプ1台購入、細河分団に配置
昭和47年	10月6日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、北豊島分団に配置
昭和49年	8月23日	消防団機械整備強化のため消防ポンプ自動車1台購入、池田分団 に配置
昭和50年	8月5日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、呉服分団に配置
昭和53年	9月6日	消防ポンプ自動車BSI型1台購入、秦野分団に配置
昭和53年	12月10日	池田分団車庫詰所改築
昭和54年	9月26日	小型動力ポンプ3台購入、呉服分団、秦野分団（鉢塚）、北豊島 分団（神田）に配置
昭和55年	8月20日	小型動力ポンプ3台購入、北豊島分団、秦野分団、池田分団に配置
昭和56年	4月1日	組織の改正を行い3方面隊7分団とする
昭和56年	12月22日	呉服分団車庫詰所70㎡建設移転

昭和57年11月 6日 消防ポンプ自動車B S I型1台購入、北豊島分団に配置

昭和58年 6月 7日 北豊島分団詰所新築

昭和59年 5月24日 トランシーバー15基購入、団本部1基、7分団各2基配置

昭和59年 7月29日 秦野分団車庫詰所改築

昭和60年10月 3日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、細河分団に配置

昭和62年10月14日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、鉢塚分団に配置

平成 元年 9月30日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、神田分団に配置

平成 元年10月 1日 車載用受令機7台購入、各分団車両に配置

平成 元年12月10日 細河分団車庫兼詰所61. 17㎡建替

平成 2年11月14日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、池田分団に配置

平成 2年12月 9日 秦野分団車庫兼詰所82. 59㎡建替

平成 2年12月16日 神田分団車庫兼詰所70. 78㎡建替

平成 4年 7月31日 広報車（普通自動車）1台日本消防協会より寄贈があり団本部に配置

平成 4年 9月 9日 消防ポンプ自動車C D-I型1台日本損害保険協会より寄贈があり秦野分団に配置

平成 4年10月12日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、呉服分団に配置

平成 5年 8月13日 高感度トランシーバー15基購入、団本部1基、7分団各2基配置

平成 7年 3月29日 各分団車庫詰所にファクシミリを配置（4月1日運用開始）

平成 8年11月18日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、北豊島分団に配置

平成11年 5月28日 池田市地域防災計画に基づき池田市地域防災無線機15基を団本部1基、7分団各2基配置し運用開始

平成12年 2月 9日 日本消防協会長より優良消防団表彰を受け表彰旗を受章

平成12年 7月10日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、細河分団に配置

平成12年 9月10日 細河分団車庫兼詰所99. 61㎡移転新築

平成15年10月10日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、鉢塚分団に配置

平成17年10月15日 小型動力ポンプ3台購入、呉服、神田、鉢塚分団に配置

平成17年10月30日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、神田分団に配置

平成18年10月21日 小型動力ポンプ3台購入、池田、北豊島、秦野分団に配置

平成18年11月 2日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、池田分団に配置

平成19年 2月 8日 日本消防協会長より優良消防団表彰を受け竿頭綬を受章

平成20年 2月15日 指揮・広報車（普通自動車ワンボックス型）1台日本消防協会より寄贈があり団本部に配置

平成20年 9月 5日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、秦野分団に配置

平成20年11月25日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、呉服分団に配置

平成21年10月 1日 池田市地域防災無線機15基をデジタルMCA無線機に更新

平成24年 9月11日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、北豊島分団に配置

平成25年 9月 4日 消防ポンプ自動車C D-I型1台購入、細河分団に配置

平成27年 3月23日 小型動力ポンプ1台栗田トシ子氏より寄贈があり細河分団に配置

平成29年 9月26日 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車C D-I型1台、総務省消防庁より無償貸付があり鉢塚分団に配置

消 防 団 員

(1) 現在員数

(平成30年4月1日)

分団別	階級別	団 長	副団長	分団長	副 分 長	部 長	班 長	団 員	計
本 部		1	3	1					5
池 田				1	1	4	6	13	25
呉 服				1	1	4	6	13	25
北 豊 島				1	1	4	6	10	22
秦 野				1	1	4	6	12	24
細 河				1	1	4	6	13	25
神 田				1	1	4	6	12	24
鉢 塚				1	1	4	6	13	25
計		1	3	8	7	28	42	86	175

(2) 階級別定員・実員数

(平成30年4月1日)

定員・実員	階級別	団 長	副団長	分団長	副 分 長	部 長	班 長	団 員	計
定 員		1	3	8	7	28	42	91	180
実 員		1	3	8	7	28	42	86	175

(3) 階級別在職年数

(平成30年4月1日)

年数別	階級別	団 長	副団長	分団長	副 分 長	部 長	班 長	団 員	計
1 年 未 満								9	9
1 年 以 上 5 年 未 満								38	38
5 年 以 上 10 年 未 満						1	15	25	41
10 年 以 上 15 年 未 満						1	10	8	19
15 年 以 上 20 年 未 満					4	7	11	2	24
20 年 以 上 25 年 未 満				1	1	10	5	4	21
25 年 以 上 30 年 未 満			2	4	1	5	1		13
30 年 以 上		1	1	3	1	4			10
計		1	3	8	7	28	42	86	175

(4) 年齢別団員数

(平成30年4月1日)

年 齢	20才 未 満	20才～ 25才	26才～ 30才	31才～ 35才	36才～ 40才	41才～ 45才	46才～ 50才	51才～ 55才	56才 以 上	平均 年 齢
団員数	2	4	10	14	39	35	19	24	28	44

消防団員表彰状況

表彰には国が行う叙位、叙勲、褒章のほかに消防表彰規程に基づく各種の表彰があり大阪府、大阪府消防協会、池田市においても毎年該当者について、定期的に表彰を行っている。

種 類		年 度						
		23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
消 防 庁 長 官		2	2	2				1
知 事	勤 続 功 労 章	2	2	1	1	1	1	1
	功 労 章	3	3	3	3	3	2	2
日 本 消 防 協 会		4	2	5	5	1	4	3
大 消 防 協 会 府 長	功 績 章	1		1		1	1	
	永 年 勤 続 章	3	2	7	2	5	3	3
大 阪 府 消 防 協 会 豊 能 支 部 長	勤 続 章	5	5	5	5	5	5	5
	勤 功 章	5	5	5	5	5	5	5
	精 勤 章	6	6	6	6	6	6	6
大 阪 府 消 防 協 会 豊 能 支 部 長		2	2	2	2	8	2	2
池 田 市 長		5	5	5	5	8	4	5
消 防 団 長		3	4	7	6	6	6	7
計		41	38	49	40	49	40	39

消防団出動状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

出動別 月 別	火災等		訓 練		水 防		警 戒		会 議	
	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員	回 数	人 員
4月			14	251					10	16
5月			29	378					1	1
6月			26	293					9	21
7月			26	375			3	33	10	16
8月	3	39	20	221			11	127		
9月			22	265					4	12
10月			15	230	8	113			1	3
11月			25	300					10	13
12月			13	225			32	506	1	1
1月	3	10	21	313			5	40	9	14
2月			15	233					2	2
3月			24	333					11	16
計	6	49	250	3,417	8	113	51	706	68	115

総出動延人員： 4,400 名

主たる消防団行事及び訓練等実施状況

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

行事及び教養訓練の名称	実施時期	参加人員(延)
分 団 長 会 議	年 4回	48人
定期訓練及び機械器具の点検	毎月 2回	2,431人
ポンプ車操法訓練	自 平成29年 6月 7日 至 平成29年 8月 2日	239人
消防団員教育訓練(基礎教育訓練)	平成29年 5月14日 平成29年 6月11日	19人
石 橋 祭	自 平成29年 7月29日 至 平成29年 7月30日	33人
豊能地区支部消防総合訓練大会	平成29年 8月 6日	49人
猪 名 川 花 火 大 会	平成29年 8月19日	75人
愛宕神社護摩供養警備	平成29年 8月24日	2人
市民カーニバルの警戒 がらがら火及び大文字等の消防特別警戒	平成29年 8月24日	50人
大 阪 府 消 防 大 会	平成29年 9月 3日	26人
消防団員教育訓練(幹部科)現場指揮課程	平成29年11月19日	3人
消防団員教育訓練(機関科)可搬ポンプ課程	平成29年11月12日	2人
豊能地区3市2町合同防災訓練	平成29年11月22日	6人
歳 末 特 別 警 戒	自 平成29年12月27日 至 平成29年12月30日	506人
消 防 出 初 式	平成30年 1月 7日	150人
消 防 警 戒 (天満宮とんど)	平成30年 1月14日	24人
消 防 警 戒 (毘沙門天)	平成30年 1月14日	7人
消 防 警 戒 (尊鉢厄神大祭)	平成30年 1月19日	9人
消防団員教育訓練(幹部科)分団指揮課程	平成30年 1月21日	1人
合 計		3,680人

消 防 団 機 械 現 況

(平成30年4月1日)

項目 配置	種 別	社 名	年 式	エンジン		ポンプ
				出力(KW)	排気量(CC)	級 別
本 部	乗用車 (1)	ト ヨ タ	2002年	147	2,990	
池 田 分 団	普通ポンプ車	日 野	2006年	110	4,000	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2006年	46	617	B 3
呉 服 分 団	普通ポンプ車	日 野	2008年	110	4,009	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2005年	34	617	B 3
北 豊 島 分 団	普通ポンプ車	日 野	2012年	110	4,000	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2006年	46	617	B 3
秦 野 分 団	普通ポンプ車	日 野	2008年	110	4,009	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2006年	46	617	B 3
細 河 分 団	普通ポンプ車	日 野	2013年	110	4,000	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2015年	22	526	B 3
神 田 分 団	普通ポンプ車	日 野	2005年	110	4,000	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2005年	34	617	B 3
鉢 塚 分 団	普通ポンプ車	い す ゞ	2017年	103	2,999	A 2
	小型動力ポンプ	トーハツ	2005年	34	617	B 3